

日本福祉介護情報学会ニュース

2025年1月31日発行

発行：日本福祉介護情報学会（<http://jissi.jp>）
〒215-8542 神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1 田園調布学園大学 人間福祉学部
村井研究室内（info@jissi.jp）

【目次】

1. メールアドレスの確認と最新化のお願い
2. 理事挨拶（第1回目）
3. 研究会 開催案内
4. 会員アンケート回答のお願いと新研究会の検討状況について

1. メールアドレスの確認と最新化のお願い

日本福祉介護情報学会 事務局

平素より、学会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
この度、これまで郵送にてお届けしてきたニュースレターを、環境負荷の軽減や業務効率化・学会運営費の適正化を目的に、メーリングリストでの配信に切り替えることとなりました。

前号（2024年12月10日発行・配信）のニュースレターを試験的にメーリングリストで配信いたしました
が、登録いただいているメールアドレスが古い、メールサーバの設定により受信拒否されるなどの理由
で、多くの会員の皆様にお届けできていないことが判明いたしました。

前号・今号のニュースレターをメールにて受け取ることが
できなかった方は、以下のリンクより、所属情報および最新
のメールアドレスの更新登録をお願いします。

<https://forms.office.com/r/JD1v2gPNiB>



2. 理事挨拶（第1回目）

日本福祉介護情報学会 理事会

第9期役員体制の発足を機に、学会活動の再活性化とさらなる発展を目指してまいります。前号の村井祐一代表理事の就任挨拶に続き、各理事より今後の抱負をお伝えいたしますので、ご一読のほど、よろしくお願いいたします。

AIの実用化はパーソナルコンピュータやインターネットの普及に匹敵する大変革と感じています。本学会はこれまでの成果を礎に、AIやデジタルイノベーションを活用して、人と人、人と地域を結びつける取り組みを推進し、地域共生社会の実現をめざします。情報技術を単なるツールとしてではなく、人間らしい絆を育む技術として活用し、次世代の福祉社会の構築をめざして、会員の皆様とともに研究と実践を進めていきたいと考えています。

村井 祐一（田園調布学園大学）

立教大学で「福祉情報論」を担当してから12年が経とうとしています。講義を始めた頃、ICTやIoT機器は福祉介護の現場ではまだ異質な存在でした。しかし、現在ではそれらが不可欠なものとなり、特にここ数年の生成AI技術の発展と普及は、福祉介護の現場を含めた社会全体に根本的な変革をもたらそうとしています。このような社会の変化の中で、福祉介護の情報化を専門とする本学会は、社会から必要とされる存在であるべきであり、福祉介護の情報化を現代に即した形で再び理論化し、社会の期待に応えていきたいと考えています。

川森 茂樹（立教大学）

田園調布学園大学で福祉情報・福祉工学分野の授業を担当しております。ソーシャルワーカーを目指す学生に、福祉分野における情報や福祉機器の重要性を伝えたいと授業、研究に取り組んでいます。社会の変化に対応できる柔軟な考え方を持つワーカーを育て、現場で必要となるものとともに考えていきたい。本学会で築き上げる理論、これから取り組まれていく研究会などを通じて社会に貢献できるよう精進してまいります。

微力ではございますが、本学会の発展と皆様のご期待に応えるべく、誠心誠意努めてまいります。よろしくお願いいたします。

川名 正昭（田園調布学園大学）

この度、日本福祉介護情報学会の理事に就任いたしました周南公立大学の小林武生です。ソーシャルワークプロセスにおける情報活用の重要性を社会福祉士養成課程に取り入れた実習教育に携わっています。

皆様のご支援とご協力を賜り、福祉介護分野での情報活用方法の構築、そしてより良い社会の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

小林 武生（周南公立大学）

3. 研究会 開催案内

日本福祉介護情報学会 理事会

前号でのご案内のとおり、以下の日程と内容で第1回研究会を開催します。

【研究会の進め方】

事前登録・連絡、事前の準備は不要です。当日は、各研究会のZOOM案内より、お気軽にご参加ください。また、研究会は会員以外の方もご参加いただけます。学会活動を広く知っていただく機会でもありますので、メールやZOOM案内の転送を歓迎いたします。

1) 「福祉介護情報論」研究会

日時

2025年2月15日(土) 10:30~12:00(予定)

テーマ

福祉介護の情報・情報化の研究・教育等に携わっている会員を中心に、互いの活動を紹介しつつ、福祉介護の情報化の再理論化を目指します。福祉介護現場において最新のデジタル技術がどのように活用できるのかを思考実験しつつ、福祉介護現場への使い方の提案を通して理論研究を深化させていきます。

<https://us06web.zoom.us/j/84467893820?pwd=ON4kRXibSdtHo673ZtMLmBfLk4F9Ep.1>



2) 「地域見守り等情報化実践」研究会

日時

2025年2月22日(土) 10:30~12:00(予定)

テーマ

福祉介護の情報の活用が不可欠な「地域見守り」等の実践に取り組んでいる会員を中心に、互いの活動を紹介しつつ、情報をキー概念とした議論を深めます。地域見守り等をテーマに、実践研究の成果から取り組むべき課題を明らかにし、情報の観点からの実効性のある解決策を導出するなど、研究会の成果を実践現場にフィードバックしていきます。

<https://us06web.zoom.us/j/81609866231?pwd=W9Wbb8CV4jRFgkdIp2woxwODvTcEFM.1>



2つの研究会とも、参加者の皆様が取り組んでいる研究や教育活動の内容を紹介いただくことから始める予定です。自己紹介ならびに取り組む内容の共有によって参加者の相互理解を深め、研究会として深堀していく研究領域を明確化することを目指します。研究会は、会員相互交流の場を目指していますが、「とりあえず様子を見てみたい（聞くだけにしたい）」の参加も歓迎です。

4. 会員アンケート回答のお願いと新研究会の検討状況について

日本福祉介護情報学会 事務局

前号のニュースレターでお知らせした、新たな学会運営方針に関するご意見をお寄せいただければと思います。会員アンケートを継続していますので、以下のURLから回答をお願いします。なお、スマートフォンでQRコードをスキャンしていただいても回答フォームにアクセスできます。

<https://forms.office.com/r/JD1v2gPNiB>



会員アンケートにお寄せいただいた回答から、2025年度に新たに設置する研究会の検討を進めています。現時点での研究会の案は、以下のとおりです。

実践現場の問題解決研究会(仮称)

情報化実践に取り組む福祉介護の現場が直面する問題・課題を整理し、本学会として解決に取り組みます。問題・課題と解決策を整理・体系化することで、本学会の知見を福祉介護の現場にフィードバックしていきます。

福祉介護 IoT・センサー研究会(仮称)

福祉介護の施設を中心に導入が進められているIoT・センサーの技術動向、業務の効率化とサービスの質の向上につながる活用方法を整理・体系化し、「施設や居宅での見守り等」の実践研究を進めていきます。

2024年度から開催する研究会の活動を軌道に乗せてから、会員アンケートに寄せられたご意見をもとに新たな研究会を立ち上げていきますので、引き続き、よろしくお願い致します。